

陣中日誌

自昭和十九年十月三十一日  
至昭和十九年十月三十一日

獨立混成第五聯隊工兵中隊

22507



十月一日	日曜日	宿管地	沖經縣	國頭郡	本部町	渡久地	本部國	民學校
一	日 命 第七十一號	1. 獨之混成第十五聯隊 日 命令 陸軍兵科乙種幹部候補生 小岩井 二郎	2. 陸軍伍長 (九月二十日付) 陸軍伍長 小岩井 二郎	陸軍機密第三九二號 依り 豫備役編入 引續 召集 二大隊附 命令 (十月一日付) 陸軍兵長 武藤 謙	3. 二大隊 下士官勤務 命令	二 中隊 命令	1. 第二小隊 第一小隊 配屬換 命令	2. 第一小隊
								陸軍兵長 清水 熊三郎 陸軍一兵 南谷 六一郎

十月一日  
本部校

指揮班、

頭吉、通り西島換、命、

陸軍一等兵 田端重吉

陸軍一等兵 矢崎子壽

連絡要員トシテ 指揮班勤務ヲ命、

陸軍衛生一等兵 齊藤作二

第一小隊ニ於テ勤務スベシ

陸軍二等兵 小笠重雄

以下 三十七名

陸軍一等兵ヲ命、

二、全員、六、七、起床 帰還準備

四、高橋伍長以下 十一名 梱包作業、任、

五、佐藤伍長以下 十一名 梱包輸送作業、任、

六、主力、ロ、七、二、露艦地出發 前日ニ引續キ 伊江島飛行場ニ到リ 飛行場建設作業、任、一、二、三、露艦地

七、井上少尉以下 五十七名 伊江島中隊隊長、指揮下ニ入リ

八、中隊長 北村中尉以下 九十五名 一六三、露艦地出發

一、九、飛船 一、二、三、渡久地 本島國民學校ニ帰還ス

九、宇川伍長以下 三十九名 渡久地ニ武器資材及個人裝備受領

輸送、爲、中隊ト同行ス

一、二、三、作 命 第一四號

二、五、中隊 命令

十月二日

月曜日

晝後晴

宿營地

沖繩縣

國頭郡

本部町

渡久地

十月二日

渡久地

晝後晴

宿營地

沖繩縣

國頭郡

本部町

渡久地

一、聯隊、旅團、戦斗計畫書改定ニ伴ヒ 北地区隊トナリ南地区  
 隊ト共、本部半島北半部、要地、確保シ、特、砲兵ヲ後衛ス  
 又伊江島ニ對シテ海上機動ヲ準備ス  
 第一大隊ハ左第一線トシテ 本島附近ヨリ 臺北大原附近ニ至リ、  
 堅固ニ陣地ヲ台頭スル共、内營區南方ニ以高志ハ 聯隊複隊  
 陣地トシテ 堅固ニ陣地ヲ構築ス

本部國  
民學校

第一大隊ハ右第一線トシ、屋名座東方高地ヲ東上原南方高地ニ至ル間ニ堅固ニ陣地ヲ占領スル共、内管南方高地ハ聯隊後部陣地、一部ト堅固ニ陣地ヲ構築ス

第二中隊ハ内管附近聯隊後部陣地内、諸施設ヲ構築スル共、並里—久座品—内管道ヲ構築セシム

第三小隊ハ内管第二線矢器洞窟格納庫及第四號機銃洞窟格納庫ヲ構築スル共

第四小隊ハ第九號矢器彈藥洞窟格納庫ヲ構築スル共、一部ヲ以テ現作業中、並里—久座品—内管道ヲ速ニ完成スル

第五作業班ハ西小隊ノ宿營地至、如シ

指揮班 第一小隊 屋名座—内管  
佐藤伍長ハ管内附近ニ假工場、蒸餾庫ヲ設置スル

後一々小隊分、三向尖舎ヲ構築スル  
但枚原ハ後部陣地外ヨリ一蒐集スル共

高橋伍長ハ中隊分之間、機銃受領ニ任ズル  
各作業(第四號機銃洞窟施設) 並里—久座品—内管道構築ヲ除ク、完成ハ本月末トス

中隊長 北村中尉

下連隊 小隊長及佐藤 高橋伍長、集人口連

日 命 第一中隊 獨之部隊第一中隊隊長口命令 及抄本

同 司令 陸軍中尉 吉川善代志  
同 副官 陸軍曹長 佐藤幸四郎

預言、通リ服務スル  
本部町住民ニル名入夫トシテ來隊 並里—内管間、道路構築  
作業援助ニ任ズル

四午前 全員 武器 被服、手入  
 上守川 伍長以下 三九名 武器 被服 及 資材、受領 並 何之 作業  
 六午後 營内 休養

十月二日 一 日 命 第三四號

火曜日 獨上 湯成 第五聯隊 日十 命令 本月二日 本村 敬一 少

宿營地 右事務連絡、急三泊四日、予定可、以、功霸市、出展、命令  
 陸軍大尉 志村 敬一 少

沖繩縣 志村大尉 不在間 部隊 副官 代理、命令  
 陸軍少尉 石井 英久

本村町 二 本村町 住民 三四八名 入 天トシテ 來隊 前日、引續、並里一  
 山宿間、道路 構築 作業 援助、任マシ

本部國民 二 本部國民學校 校庭ニ於テ 伊江島 飛行場 建設 作業 期間  
 作業 其、他 諸勤務、精勵 兵 實詞 傳達、等 行

獨居 工作 命 四、八、〇、リ 月 例 身体 検査 引續、衛生 講話

第六 班 伍長 一 少、以、第一 小隊、武器、配當 及 何之、實施  
 六 高橋 伍長、一 少、以、第一 小隊、被服 資材、配當 及 何之、實施  
 七 第三 小隊 坂口 伍長 以下 二八名 設營地 作業 準備、急一、二、〇、  
 內 當 宿營地、出發ス

十月四日 一 第一 小隊 守川 伍長 以下 三九名 武器 被服 資材 及 裝備品、  
 受領 何之、輸送 完了、リ、伊江島、向、帰隊ス

水曜日 二 中隊長 以下 全更、一、二、〇、リ、合前、於、軍人 証諭 奉讀 式 舉行  
 宿營地 二 第二 小隊 村上 少尉 以下 二四名 一、四、〇、名 在 宿營地、向、出

沖繩縣 陸軍 四 本部國民學校 學童 二二名 勤務 奉 任 隊、リ、本隊  
 本部町 第一 小隊、並里一 內 宿間、道路 構築 作業 援助、任マシ

民衆 欣

十月五日  
 第一號及  
 駐之司令部  
 二號、大砲  
 十月五日  
 本曜日  
 曇時、雨  
 宿營地  
 沖繩縣國  
 頭那本町  
 渡久比本町  
 國民學校  
 橋原二日、命四  
 陸軍一、第六、景名、藤一

一、本部國民學校學童、二五五名、勤勞奉仕隊トシテ來隊  
 前日、引續キ、第三小隊、並里、一、内當間、道路、構築作業、援  
 助、任セシム。  
 二、第二小隊、内當、二、第三號、兵器、及、第四號、糧秣、河、倉、格納庫  
 構築作業、任セ。  
 三、第三小隊、第一、第四分隊、八、内當、二、第九號、兵器、彈藥、洞、倉、  
 格納庫、構築、第二、第三分隊、八、並里、一、内當間、道路、  
 構築作業、任セ。

十月六日  
 全曜日  
 曇  
 宿營地  
 沖繩縣  
 國頭郡  
 本部町  
 字、並里  
 十月七日  
 土曜日

右、濕性、兼、濕、膜、炎、ニ、依、リ、名、護、町、陸、軍、忠、告、療、養、所、入  
 所、ス。

一、本部町住民、四六六名、人、大、ト、シ、テ、飛、隊、第二小隊、並里、一、内當  
 間、道路、構築作業、任セシム。  
 二、第二小隊、八、前日、引續キ、内當、二、第三號、兵器、及、第四號、糧秣、洞、  
 倉、格納庫、構築作業、任セ。  
 三、第二小隊、第一、第二分隊、八、前日、引續キ、内當、二、第九號、兵器、彈藥、  
 洞、倉、格納庫、構築、第二、第三分隊、八、並里、一、内當間、道路、  
 構築作業、任セ。

四、指揮班、中隊長、以下、六名、一、三、〇、屋、名、定、宿、營、地、到、リ。  
 一、本部町住民、二、八、〇、名、人、大、ト、シ、テ、來、隊、第二小隊、並里、一、内當  
 間、道路、構築作業、援助、任セシム。

第一小队前日引續、内管、第二小队及第四小队、陸隊洞窟

格納庫、構築作業、任之

第二小队、第四小队前日引續、内管、第九小队、陸隊洞窟

洞窟格納庫、構築、第二、第三小队、並里、内管間、道路

構築作業、任之

獨混二工作命 第三小队

北地区隊命令

十月八日 十月八日 十月八日

晴

第一小队方面 敵機動部隊來襲、公算、

十月八日十時、西南諸島全地区、對、兩號戰備下令ケル

二、地区隊、對空、海上、警戒、厳重、警戒、對空戰備、強化セトス

三、各隊、對空、海上、警戒、厳重、警戒、對空戰備、強化セトス

配置、社、主、迅速、掩蔽下、退避、得、準備

各隊、速、配備状況、處置、概要、電話、作、報告ス

北地区隊長 美田入佐

下達命令、度、領者、集、口、連筆記、後、印刷、付

二、日命 第三小队

獨上、第五、第十五、聯隊、日、命令

本機、明日、兵、機、戦術、七、席、二、四、日、予、定、以、

那霸市、七、席、

二、二、工作命 第三小队

二、二、工作命 第三小队

十月八日、十月八日、十月八日

十月八日、十月八日、十月八日

十月八日、十月八日、十月八日

十月八日、十月八日、十月八日

十月八日、十月八日、十月八日

十月八日、十月八日、十月八日

十月八日、十月八日、十月八日

2. 中隊の對空敵雷式ヲ嚴シク共ニ主力ヲ以テ銳意河原掩蔽部ノ  
構築作業ノ努力セトス

3. 第三小隊ハ二六ニ東側高之ニ對空監視哨一處ヲ配置對空  
敵雷式ヲ實施セトス

亦、現在實施シマシ道路工事ハ之ヲ中止ス  
中隊長 井村中尉

下違法傳令ヲ以テ要旨ヲ傳達ス  
四、對空監視規定

1. 編成 下士官ヲ各一 兵六名至十名ヲ以テス 分哨トス

2. 位置 二六ニ高之東側(前哨)男(ト)ノ極ニ高之ヲ以テシテ  
各作業場ヲ展望シ得ルト共ニ廣ク對空ヲ監視シ  
得ル位置トス

3. 服装 徒手短剣 銃帽被甲携行トシ連絡ニ必要ナル赤旗  
並ニ音響警報器報答器ノ八兩ハテヲ以テ各作業場ニ

警報器ノ裝備  
4. 連絡 各小隊ニ敵機來襲ヲ傳達スルト共ニ中隊本部ニ  
報告ス

5. 服務時間 日五三〇—一九三〇トシ細部ハ小隊主任(第三小隊)指  
示スルニ兩境戰備解除セラレタル時ハ別命ヲ徹數  
スル

6. 守則 小隊長ニテ明示スル  
備考 速ニ監視哨全員ノ入り得ル狐穴ノ十米間隔  
ニ分散シ構築セシメ非常ニ場合ニ該内ニテ監視  
視スル

7. 本部國民學校校學童 ニニ五名勸誘奉仕隊トシテ來隊第三小  
隊ノ並ニ一内營間ノ道路構築作業ヲ援助セシム

六第三小隊前日ニ列續キ内營ニ第三流兵器及第四流糧秣河  
原格納庫構築作業ニ任ズ



十月九日  
 晴  
 宿營地  
 沖繩縣國頭  
 本部町

一 第二小隊 前日ニ引續キ 内當ニ 第三號 兵器及 第四號 糧秣  
 洞窟格納庫 構築作業ニ任ス  
 二 第三小隊 第一 第四分隊ハ前日ニ引續キ 内當ニ 第九號 兵器  
 彈藥 洞窟格納庫 構築 第三分隊ハ 掩体(洞穴) 構築ニ任ス  
 三 開口伍長以下 十名 二二高地 東側ニ於テ 對空監視ニ任ス  
 本部國民學校 學童 八一三〇〇 以降 歸定ス

十月十日  
 火曜日  
 晴  
 宿營地  
 沖繩縣  
 國頭郡  
 本部町  
 字 北里

一 獨混五作命 第二三號  
 北地區隊命令  
 十月十日 〇七三〇  
 八目下地區隊上空ヲ 跡中ニシテ 噴煙 掃地及 連天 連ニ 破池  
 十、艦船ニ 相當、損害ニ 如シ  
 二、地區隊ハ 豫メ 準備セテ 對空射撃ヲ 部隊ヲ 以テ 見放心 墜リ 斯ニ  
 三、共ニ 彈藥 糧秣、分散 集積ニ 遺憾ナク、期シ 空爆ニ  
 四、損害、程度ニ 限少セシム  
 五、各獨立中隊ハ 速ニ 部隊本部ニ 復歸シ 聯隊砲及 連射砲

獨逸軍命令

第二班

略

ハ砲及携行彈藥ヲ速ニ聯隊新陣地附近ニ待避セシムル

ニ兵中隊ハ一部ヲ以テ聯隊本部集積彈藥ノ搬出ニ主カ

以テ部落ノ破壊消防ヲ準備スル

4. 后中隊ハ對空監視ニ任ジアル兵四〇名ハ必ニ〇名ヲ藤本中隊

ニ列渡シ本部集積彈藥ノ搬出ニ協力セシムル

5. 高級軍醫ハ本部南側洞窟附近ニ救護所ヲ開設シ傷者

ノ收容ニ任ズベシ

6. 第一第二中隊ハ各々ニ小隊ノ兵力ヲ以テ本部ヲ救後スベシ

7. 予ハ本部國民學校ニ在リ

北地區隊長代理 岡澤大尉

下達法 電語及傳令ヲ以テ要旨ヲ傳ヘ後印刷文附

二 獨混 一五作命 第五四號

北地區隊命令

十月十日 久 地

1. 敵情ハ既示セテ如ク林園ノ情報ニヨリモ敵空襲ハ茲ニ一部

上陸ノ公算大シモナリ

2. 北地區隊ハ一部ノ連絡要員ヲ現本部往還ニ配置シ主力ハ新陣

地配備ニシテ情況ノ推移ニ即應セシム

3. 第一第二大隊ハ大隊長ノ區處ヲ以テ速ニ新陸地配備ニシテ戰

斗ノ準備ニマルト共ニ現工事ヲ促進スル

4. 本部及獨立中隊ハ左記人員ヲ配置シ志村大尉ヲ指揮下ニ入

シムベシ

左 記

本部書記 一 傳令 一

通信班 下士官 二 兵 八

電報班 下士官 一 兵 二

獨立中隊 合々 兵 三

監視班 下士官 二

炊事 下士官 一 兵 二

5. 北村大尉ハ前線入員ヲ指揮シ對海上對空監視ニ任ズル共ニ  
晴況急變スル場合ハ速ニ現通信網ヲ撤收シ聯隊新陣地ニ轉  
進スルベシ

6. 獨ニ中隊ハ夜ヲ徹シ現任務ヲ續行スルベシ

7. 通信班長ハ一歩ヲ以テ聯隊新陣地ニ於ケル本節各大隊間ノ  
通信網ヲ構成スル共ニ旅團トノ通信線構成ヲ準備スルベシ

8. 千ハニニニ新陣地ニ△ニ六ニ北麓ニ在リ

北邊區隊長 代理 河澤 大尉

下達法 電語傳令ヨリ要旨ヲ傳ヘ後印刷交付

三. 工中作命 第二十六號

工中作命 第二十六號

十月十日 陸軍省

1. 對空監視、報告ニ依リ約十數機ヲ以テ編隊ハ  
那霸方面ヨリ百爆中ナリ  
又伊江島及瀬田島近辺ヨリ三數機ハ機銃砲爆批烈ナリ

2. 中隊ハ速ニ内營ニ集結セシム

3. 第一第二小隊ハ最小限ノ人員ヲ殘置シ前日ノ作業ヲ履  
行スベシ

4. 殘置人員ハ自任地附近ニ於テ完全ニ待避位置ヲ選定  
シ非常ノ場合於テ該地ニ退避スベシ

5. 高橋任長ハ渡久地に残留人員ヲ指揮シ兵器、庫藥及被服  
ヲ内營ニ運搬スルベシ

5. 車及人夫ヲ經理官ヨリ受領スルヲ要ス

6. 余ハ内營ヲ經テ渡久地地區隊司令部ニ到ル

中隊長 北村中尉

下達法 傳令ヲ以テ各小隊長及高橋任長ニ要旨ヲ傳達ス

四. 工中作命 第二十七號

工中作命 第二十七號

十月十日 陸軍省

1. 10時0分本節上空ニ侵入シ敵機數機連合約四機ハ

回下跡深中ナリ、地置隊ハ空爆、依リ損害ヲ程度、限ラズ  
ルン、彈藥糧秣、分散集積、ニ實施ス。

ニ中隊ハ一部ヲ以テ、聯隊本部、集積彈藥、撤出ヲ、主力ヲ  
以テ、部、落、破壊消防ニ任セントス。

三、第三小隊ハ、聯隊本部、集積彈藥、撤出ヲ、實施スベシ。

四、第二小隊ハ、部、落、破壊消防ヲ準備スト共、兵器被服  
ノ撤出及分散ヲ實施スベシ。

五、佐藤伍長、第二小隊、破壊消防、為、所要ノ器材ヲ交付  
スベシ。

六、余ハ、本部、國民學校、有リ、  
中隊長 北村中尉

下連法 各小隊ニ口達ス  
二十日 六五五 中隊長 忠告地ニ、回リ、空襲警報發令  
シ、ルニ、伊平屋島、南ナリ、水龍、モ、火、爆、連合、敵艦上機

十数機、以テ、渡入地、空襲、同時敵、投下セル、油、指、爆、友、彈、ヨリ  
町一面、直リ、火災ヲ生ス。

六、第二、第三小隊共、作業ヲ中止シ、兵力ヲ、渡入地、集結シ、  
第二小隊、渡入地附近、破壊消防、ニ、彈藥糧秣、撤出及分  
散、爲、内、管、復、郭、陣、地、内、臂、力、ニ、ヨリ、夜、徹シ、運搬作業、  
任ス。

七、第二小隊(タニ、公隊) 渡入地、第一彈藥庫、及、糧秣庫、内、彈藥糧秣  
、撤出及分散、爲、内、管、復、郭、陣、地、内、臂、力、及、車輛、ヨリ、夜、  
徹シ、運搬作業、任ス。

八、第二彈藥庫、歩哨、ヲ、立、消、中、陸軍一、兵、隊、川、信、美、ハ、  
敵、銃、爆、撃、ヲ、受、膝、部、破、片、裂、傷、ヲ、左、手、首、擦、過、傷、  
ヲ、九、九、式、短、小、銃、床、尾、部、ニ、機、銃、ヨリ、貫、通、ヲ、受、ク、

四日、名護町陸軍患者療養所、入所ス。

九、第二小隊、第二公隊、阿口、伍長、以下、十七、内、管、ニ、六、二、米、制、高、地、ヲ、討

空監視。任。

十、高橋伍長以下十五名、勤務並中隊、兵器彈藥被服、搬出及運搬。任。

十月十日

水曜日

宿營地

一、第一隊 內營、第二號兵器及第四號糧秣洞窟格納庫、  
構築作業。任。  
二、第三小隊(欠一分隊) 內營、第九號兵器彈藥洞窟格納庫、  
庫築作業。任。

沖繩縣國

三、第三小隊 第二分隊、內營、六二高地、東側、對空監視。任。

頭部本館

町字並里

十月十日  
水曜日

一、第二隊(欠一分隊) 內營、第三號兵器及第四號糧秣洞窟、  
格納庫、構築作業。任。

營

宿營地

二、第二隊 第二分隊 內營、松林、洞窟、使用、木枝伐採作  
業。任。

沖繩縣國頭

那水部町字

三、第三小隊(欠一分隊) 內營、第九號兵器彈藥洞窟格納庫、構築  
作業。任。

並里

四、第三小隊 第二分隊、內營、六二高地、於、對空監視。任。

十月十日

金曜日

營

一、第二小隊 內營、第三號兵器及第四號糧秣洞窟格納庫、  
構築作業。任。  
二、第三小隊 第一分隊、內營、稗息、掩蔽部、構築。  
三、第三小隊 第二分隊、內營、六二高地、東側、於、對空監視。任。

宿營地

沖繩縣

四、第三小隊 第二分隊、內營、第一五、撤收、爾後小隊、復歸。

國頭郡

本部町

納庫、構築作業。任。

字內營

五、指揮班並宿營地、內營、移駐。

橋本司令  
某三階官略

十月七日

土曜日

晴

宿務地

沖經縣

國頭郡

本部町

渡久地

本部國

民學校

一 橋混一五作命 某三五號

北地區隊命令

十月十四日

1. 皇國ハ分明日ニ亘リ台灣附近ニ於テ航空決戦ヲ企圖ス

軍ハ管内ニテ航空基盤ヲ確保シ右作戰遂行ニ協力ス

旅團ハ伊江島ニ主力ヲ増強シ特ニ飛行場ノ神修ニ遺憾

ナラシム

本部地區隊ハ一部ノ重火器ヲ渡久地埠頭附近ニ位置セシメ

輸送間ノ掩護ニ任ス

2. 北地區隊(欠第一大隊及速射砲中隊)ハ伊江島地區隊及同地

飛行場大隊ヲ併シ指揮シ新ニ伊江島地區隊トナリ晝夜

機ナラシメントス

駐在命令

機ナラシメントス

3. 第一大隊及聯隊砲中隊(欠小隊)工兵中隊ハ直ニ現作業ヲ中

止シ各、露營地附近ニ集結本二日一トシテ渡久地埠頭ニ前

進シ人員及資材ヲ區處ニ依リ伊江島ニ前進スルベシ

4. 第二大隊(屬通信一隊)及速射砲中隊ハ新ニ改編スル本部地區

隊長ヲ指揮下ニ入ルベシ

5. 伊江島地區隊及同地飛行場大隊ハ地區隊長ハ伊江島到着後

其ノ指揮下ニ入ルベシ

伊江島地區隊ハ一部ノ重火器ヲ伊江島機橋附近ニ配置シ

即隊ノ上陸ヲ掩護スルベシ

6. 兵隊各員ハ機橋司令官ハ現行任務ヲ續行スルベシ

伊江島ニ進出スルベシ

向新貨車五ト配置ス

御子村大村へ人員及び無線機掛あり、曉部隊と連絡途次  
到着スル人員、塔敷ニ往ルベシ

○村止少尉ハ材料機載掛トナリ、先ニ緊急前進スベシ貨物ノ  
塔敷ニ集ルベシ

○通信班長ハ第二大隊、無線ニテ各隊有線、一部ハ電喬ニテ  
通信班主力ハ伊江島到着後、隼下ハ指揮下部隊間、通信網ヲ  
構成スベシ

○對空監視及對空射撃部隊ハ部隊出發後最後ノ舟艇  
ニ依リ出發スベシ

○予ハ一五〇〇 渡久之芝發 伊江島、別レ

各隊ハ一五〇〇 命令受領後、伊江村國民學校ニ集ルベシ  
北地區隊長 美田 大佐

下達法 電語ニ依リ要旨ヲ傳ヘ後命令受領者ヲ集メ、口達筆  
記セル後印刷交付

二 備前一五作命 第二大隊

伊江島北地區隊命令

十月十四日 一八〇〇  
伊江島 各

一 地區隊ハ一部ヲ以テ飛行場附近ニテ、伊江島村附近ニ露營ス

二 第一大隊及二兵中隊ハ飛行場附近ニ露營スベシ

三 爾余ノ諸隊ハ伊江島村落内ニ分散露營スベシ

四 飛行場附近露營司令部ハ野崎大尉

伊江島村落内ハ西村大尉トシ各露營區毎ニ警戒及勤務ヲ區

別スベシ

五 聯隊砲中隊ハ伊江島西麓及岸伏高畑附近ニ陣地ヲ占領シ

對空射撃ヲ準備スベシ

六 各大隊ハ歩兵一小隊 機関銃主力ヲ以テ、常時對空射撃ヲ準備

備ニテ、シルト夫ニ對空監視ヲ至嚴ニ行ハスベシ

七 諸隊ハ兵器彈藥糧秣資材等一切ヲ洞室内ニ分散格納シ、防禦ノ對

スル損害ヲ絶無トナシ、セキ速ニ退去スベシ

空襲警報ハサイレンニ依リ傳達スルト共ニ空襲警報受令間ハ  
未だ學校屋臺台ニ揚グ

ノ干ハ伊江村役場ニ在リ

伊江島地區隊長 美田大佐

下達法 各小隊長ニ要旨ヲ傳ヘ後命令受領者ヲ集メテ連筆記セテタル

後印刷交付

三 二中作命 第二十八號

二 兵中隊命令

十月十四日  
署名 鹿

1. 皇國ハ本明日ニ三ノ台灣附近ニ於テ航空決戦ヲ企圖ス

ニテ各部隊(某大隊及連射砲中隊等)ハ伊江島地區隊長同遊飛行場大

隊ニ併テ指揮ヲ新・伊江島地區隊長ニ盡夜ニ同公飛行隊ニ協力シ

特ニ飛行場ノ補修ニ任ス

本日(十四日)ヨリ其第一輸送ヲ開始スルハス

2. 中隊ハ速ニ現作業ヲ中止シ伊江島渡港ノ目的ヲ以テ一モ一モ進テ渡久地埠頭ニ

至リテ集結セシム

3. 各隊ハ個人裝備武器被服ヲ携行シ渡久地埠頭ニモリテ集結スルニ

テ新井連射砲指揮班(下等一兵二)各隊(下等一兵八)ヲ差ヒテ人員指揮

シ職務整理ヲ實施シクル後明日ヨリ伊江島ニ進ル

ト佐藤隊長ハ先ツ秀ト共ニ上ニ登丹ヲ而後残余ヲ召集テ新井連射砲指揮

班ニ交シテ後以可連射砲臺舟・伊江島ニ廻送スルニ

ト余ハ秀ト共ニ伊江島ニ到リ

中隊長 中村中尉

下達法 全員ヲ集メテ下達ス

四 第一小隊内管 第二小隊及第三小隊階梯河室格納庫構築作業

業ニ任ス

五 第二小隊(欠三小隊) 第九小隊兵器庫構築河室格納庫構築作業ニ任

ス 第三小隊一十小隊内管 糧食貯蔵施設ノ構築

六 第四小隊一十小隊ヲ以テ新井連射砲ノ修繕



一、獨逸五作命 第五五號 第三項 甚々各小隊作業中止

個人裝備整理後、一六〇、第一隊ハ屋名座 第二小隊ハ内當 宿營

地ヨリ夫々渡久地ニ集結完了ス

カ輸送、關係之舟艇ノ發航、中止トシ、公要本部國民學校ニ宿營ス

十、新津附近以下十二名、夜ニ撤シ、内當後部陣地ヨリ武器彈藥被

服資材等ヲ渡久地陣地ニ運搬

土佐隊任員以下七名ニテ資材ヲ探舟機ニ依リ渡久地、伊江島間、

輸送ニ任ス

十三、陸軍一萬号 福島 希雄

名護野陸軍史者 奉養所ノ入所中、處本四日治愈退所帰隊ス

一、獨逸五作命 第五五號

伊江島地区隊命令 十月十五日 一六〇、島

一、地区隊ハ防疫給水班ヲ以テ第一大隊及工兵中隊、給水ニ任ス

之財或給水班長ハ防疫給水班、全ケヲ以テ第一大隊及工兵中隊、給水ニ任ス

バシ、餘源ハワジリサヲ使用スベシ

二、飛行場大隊長、給水ノタニ空ニシテ、鐘ニシテ本ヲ防疫給水班長ニ

貸與スベシ

伊江島地区隊長 美田大佐

下達命令及便者ヲ集メ口達筆記セシメ後印刷交付

二、獨逸五作命 第五五號

伊江島地区隊命令 十月十五日 一六〇、島

一、十月十日以來一部ヲ以テ南西諸島、主力ヲ以テ台灣ニ飛襲セシ

有力ニ敵ノ機動部隊ハ皇軍ノ猛攻ニ依リ潰滅的打撃ヲ

蒙リ東方ニ退去中ニテ我軍ハ之ヲ對シ戦果擴大中ナリ

軍ハ今二番一ルニ西境戰備ヲ解ス

二、地区隊ハ一部ヲ以テ飛行場大隊、飛行場整備作業ニ協力ス

ト共、主力ハ依然陸地構築ヲ促進セトス

宿營地

沖繩縣

國頭郡

伊江島

飛行場側

露草

3 各隊ハ一命ヲ以テ對空監視ニ任ゼシム 對空射撃手部隊ハ之ヲ  
徹シ隨時對空射撃ニ移行シ得ル態勢ヲ以テ陣地構築  
ノ促進ヲ計ルベシ

4 第一大隊及工兵中隊主力ハ明ナク以降飛行場大隊ノ飛行場  
整備作業ニ協力スベシ

實施ノ細抄ニ明シテハ飛行場大隊長ト協定スベシ

5 飛行場大隊長ハ飛行場整備作業ニ協力スベシ 第一大隊ノ各  
中隊及工兵中隊ニ對シ徹徹兩着各一ノ名ヲ配屬セシムル

6 爾余ノ諸隊ハ前任務ヲ履行シ戰備ノ完整ヲ促進スベシ  
之ヲ予ハ伊江村役場ニ在リ

伊江島邊區隊長 美田大佐

下達命令受領者 集メ口連筆記セシムル後印刷交付

三 工中作命令 第三九號

十月十四日 伊江

1 本抄ハ伊江島附近ニ第一大隊ノ飛行場附近ニ露臺ス

第二大隊(同配屬部隊含む)ハ前任務ヲ履行ス

2 中隊ノ飛行場北側地區ニ露臺シ 兵器資材ヲ分散スルヤク  
速ニ處置セシム

3 高橋隊長ハ本夕一大ニ進ニ宿營準備ヲ完了セシムベシ

4 新井准尉ハ本夕一七時六分迄 兵器資材ヲ地區隊後藏ノ  
陣地内ニ運搬シタル後 分散格納ヲ實施スベシ

5 藤本少尉ハ中隊全隊ヲ指揮シ本夕人員用退避壕ヲ構築シ  
タル後 人員兵器資材ノ急 洞を急ニ構築スベシ

6 余ハ伊江村西側民家ニ在リ

十隊長 北村中尉

下所連注 關係者 集メ口連ス

四 中隊長以下四名部隊ニ連絡ヲメ折疊母ヲ一ノ一 伊江島

一向ニ出發ス

五全頁 西：起床 痘・轉進準備（兵器及資材積載）

一七〇 渡久邊港出發 一八〇 伊江島着 引續キ 全員 兵器及

資材、卸下。任ス

六二〇 三〇リ 一四〇 進 兵器資材、區分整理

三 高橋仁丹以下五名 伊江島飛行場北側に到リ 宿營準備

八 殘念、人妻ハ 新井准尉指揮、元一 伊江村西側民家、兵器資材

、運搬作業。任ス



十月十六日 一 荷混ニ作命 第廿九號

月曜日 伊江島地区隊命令 十月十六日 一〇三三 島

晴 今般要キ、侍從武官 坪島文雄中將ヲ 第三二軍、狀況察

宿營地 視、タメ 十月十六日、十七日 御差遣 下合ス

沖繩縣 軍ハ 同伴ニ 敬告セ、強化スル 爲 丙號ヲ 戦備ヲ 下合ス

國地頭取 二 聯隊ハ 丙號ヲ 戦備、移行シ 對空 對潜 警戒セ、至嚴 警戒ス

伊江村字 一 第一大隊、第二大隊ハ 各ニ 對空警戒、至嚴 警戒ス 第一大隊ハ 伊江島

一 部、以テ 對空射撃ヲ、態勢ニ 注意ス

二 部、以テ 諸隊ハ 現任務ヲ 履行ス

三 部、以テ 伊江村 役場ニ 行

伊江島地区隊長 美田大佐

下連法 仰別夫付

二 兵中隊命令 第廿十號

十月十六日 一〇三三 島

一 十月十日以來一部、以テ 丙西諸島ヲ、主力ヲ、以テ 台灣、本島ニ

有方ニ 敵機動部隊ハ 皇軍、猛攻ニ、殲滅的打撃ヲ

蒙リ 東方ニ 進走中ニ、我軍ハ 之ニ 對シ 攻撃擴大中ナリ

至ハ 昨二日 一〇三三 丙號ヲ 戦備ヲ 解除ス

地連隊ハ 一部ヲ 以テ 飛行場大隊、飛行場整備作業、協力ス

五全員 四、起床直、轉進準備(兵器及資材、積載)  
〇七〇渡久邊港也發、〇八〇伊江島着引續、全員、兵器及  
資材、卸下、任

六、〇三〇、一四、迄、兵器資材、區分整理  
七、高橋仁丹以下五名、伊江島飛行場北側、到、宿營準備  
八、殘介、入重、新井進尉指揮、元、伊江村西側民家、兵器資材  
、運搬作業、任

十月十六日 一、 宿營五作命 第廿九號

伊江島地區隊命令

晴

一、今般畏々、休從武官、坪島文雄中將、第三二軍、狀況實質  
視、〇、十月十六日、十七日、御差遣、了、セ、レ

宿營地

軍、〇、廿、伴、〇、警戒、〇、強化、〇、急、〇、丙、防、戰、備、〇、下、令、ス、

沖繩縣

二、聯隊、〇、丙、防、戰、備、〇、行、行、シ、對、空、對、潛、警、戒、〇、至、嚴、〇、シ、ス、

國抄頭取

〇、

伊江村字

一、第一大隊、第二大隊、各、對、空、警、戒、〇、至、嚴、〇、シ、ス、

〇七二角

二、布西等面、第三大隊、同、東、北、海、面、對、潛、警、戒、〇、至、嚴、〇、シ、ス、

敵舎

一、部、以、對、空、射、擊、〇、態、勢、ニ、テ、ラ、シ、ム、ベ、シ、

宿營五作命

〇、爾、余、諸、隊、ハ、現、任、務、ヲ、續、行、ス、ベ、シ、

第六機及

五、予、ハ、伊、江、村、牧、場、〇、有、

四、命令書

伊江島地區隊長 美田大佐

現大令書略

下達法 仰、列、夫、付、

二、 伊江中隊命令

十有六日、〇、ル、

一、 十月十日以來一抄、以、

布西諸島、主カ、以、台、島、水、龍、ヲ、レ、

有カ、

敵機動部隊、〇、皇、軍、〇、猛、攻、〇、シ、

策、

東方、〇、進、中、〇、シ、

至、

昨、〇、日、〇、ル、

地、

區、隊、ハ、一、抄、以、

行、

場、大、隊、〇、行、場、整、備、作、業、〇、協、力、ス、

本主力ハ依然陣辺構築ヲ實施中ナリ

2. 中隊ハ本日以修主力ヲ以テ飛行場大隊ノ飛行場整備作業ニ

協力セントス

3. 各隊ハ一部ヲ以テ人員兵器資材ノ河窓ヲ構築スルシ

4. 藤本少尉ハ飛行場整備作業(滑走路築橋)ノ細部ニ付協定

スベシ

5. 石川准尉ハ飛行場大隊ヲ徵用者一ヨリ名ヲ飛行場整備作

業ノタメ受領スベシ

6. 余ハ伊江村西側民家ニ在リ

中隊長 北村中尉

下連法 關係者ヲ集メ口達ス

三. 二中作命 第三流

二夫中隊命令

1. 今般畏クモ侍從武官 坪島大雄中尉 第三二年ノ狀況實況

十月十六日 江一ノ村

ノチノ 十月十六日 十三日 御差遣了マシ

軍ハ右ニ伴ヒ 夜中ニ 強クシテ 西流戦備下合セ

2. 中隊ハ西流戦備ニ移行ス

3. 各小隊ハ現任務ヲ履行スベシ

4. 余ハ伊江村西側民家ニ在リ

十隊長 北村中尉

下連法 命令受領者ヲ集メ口達ス

四. 全員 伊江村宇上ニ 二番隊合ニ向ヒ 一三ニ 飛行場北側露

營地ニ發シ 一三ニ 宿營スル

宿營準備並ニ 環境ノ整理

一. 第二小隊(大一分隊) 第三小隊(大一分隊) 八隊合 河側ノ人員用

防空壕ノ構築

二. 石川准尉等二名 十隊ノ武器彈藥被服及資材等



十月十七日

大曜日

晴

宿營地 伊江村西側 民家附近 分散格納作業ニ任ズ

沖繩縣

國頭郡

伊江村

字 七 一

三商會舎

十月十八日

水曜日

晴

宿營地

沖繩縣

國頭郡

伊江村

字 七 一

三商會舎

十月十八日

水曜日

晴

宿營地

沖繩縣

伊江村

字 七 一

三商會舎

十月十九日

木曜日

晴

宿營地

沖繩縣

伊江村

字 七 一

三商會舎

十月十九日

木曜日

晴

國民學校

四一五〇リ 全員 國民學校西側、防空壕、備案

一 宿營二五作命 第六二號

伊江島地區隊命令

十月十九日 一五〇リ

一 聯隊、旅團、命令、基キ、伊江島地區隊、任務、舊伊江島地區隊、舊島嶼隊、元也、移讓シ、舊態勢、後歸シトス

二 舊伊江島地區隊長、前任務、履行スベシ

三 第五〇飛行場大隊、十月十九日一ニ、以降、予、指揮、脱シ、前任務、履行スベシ

四 水部及第一大隊、橋中隊、兵隊、彈藥、履跡、遺物、共、予、以降、伊江島、發シ、人員、及、材料、機、載、掛、指、示、シ、舊、露、營、地、附近、後、歸シ、前任務、履行スベシ

五 彈藥、兵器、資材、機、橋、炸、彈、其、集、積、ス、ル、ト、テ、遂、次、陸、地、に、又、露、營、地、附近、分散、集、積、スベシ

六 露、營、地、附近、分散、集、積、スベシ

5. 石井少尉ハ人更及五匹塔載掛トリ時助隊ト協定シ伊江  
多務橋於テ人更馬匹、塔載ニ任ズベシ

6. 秋原少尉ハ荷物塔載掛トリ時助隊ト協定シ遂次到  
着ル荷物、輸送ニ任ズベシ

7. 武藤少尉ハ渡久之埜頭ニ於テ材料揚陸掛トリ各隊、  
揚陸入更ヲ指揮シ材料資材ヲ遂次露營地附近ニ輸送セ  
シムベシ

8. 本隊ハ舊露營地復歸、急所要人員ヲ本一九日四トリ伊江  
多務橋ニ差セシ聯隊副官、指揮ニ任ズ露露營地ニ先行  
セシムベシ

1. 下ハ三日伊江馬ヲ發シ先ヅ渡久之埜國民學校ニ到リ

伊江島地區隊長 美田大佐

下達法 電話及命令受領者ヲ集メ口達筆記トシ後中副交付

二 工中作命令 第一二號

二 兵士小隊命令

四月十九日 大

1. 聯隊ハ林團命令ニ基キ伊江島地區隊、任務ヲ舊伊江島地區隊  
ニ移讓シ舊態勢、復歸ス

2. 中隊ハ二十日以降伊江島ヲ發シ人更及材料塔載掛、指示ニテ  
舊露營地、復歸シ前任務ヲ履行セトス

3. 村上少尉ハ中隊ヲ指揮シ人更及材料塔載掛、指示ニテ舊露營  
地、到リ前任務ヲ履行セシ

4. 石川准尉(小澤伍長 其二小隊兵三、其二小隊兵一)ハ舊露營地復  
歸、後本一九日一四トリ伊江島多務橋、到リ聯隊副官、指揮  
ニ任ズ露露營地ニ先行シ談話並ニ諸連絡ニ任ズベシ

5. 佐藤伍長、種藤及大谷(勅)ヲ積載機舟、依リ二十日早朝七  
發、渡久之埜到リ材料揚陸掛ノ指示ニ依リ遂次人更資  
材、露營地附近ニ輸送ニ任ズベシ

6. 高橋伍長、被服資材ヲ明午日夕迄伊江島多務橋附近ニ

集積スレシ

ノ予ハ第一小隊、築城指導、及十月下旬迄、伊江島在リ

中隊長 北村中尉

下連法、要旨ヲ傳ヘ後、關係者ヨリ集メテ口述ス

三、第二小隊渡久地、歸還準備（兵器資材、梱之ヲ整理）

四、第三小隊、伊江島飛行場、滑走路、橋、橋脚、築

五、石川准尉以下六名、談話、タメニ一ヨリ渡久地、向ヒ先行シ

爾後、宿營準備ニ任ズ

一、中隊全員、午之則午後、一旦、伊江埠頭ニ兵器、彈藥

糧秣及資材、運搬シ、集積作業ニ任ズ

十月二十日  
金曜日

晴

宿營地  
沖繩縣國

頭砂伊江村

國民學校

櫛田五日命令

第二小隊

十月二十日

土曜日

晴

宿營地

沖繩縣國

頭砂伊江村

國民學校

櫛田五日命令

第二小隊

一、真與任長以下三名、伊江埠頭ニ於テ、兵器資材、積載

作業ニ任ズ

二、其他全員

午之則、ハ、伊江村國民學校教室ニ於テ、中隊長、

精神訓話、最近、於テ戰守、狀勢、ニ團結、付イテ

ノ、九、ノ、同所、於テ、軍紀、教練

午後、歸還準備、及、兵器資材、梱之ヲ、環境、整理



日命第六  
燒本島路

十月二十日

白曜日

晴

宿營地

沖繩國頭

伊江村

國民學校

獨逸工作

第廿五號

日命第六

大島路

一、佐藤伍長以下五名機舟・体リ種林及兵器ヲ積載シ

渡久地・向・出發

二、坂口伍長以下三名中隊兵器輸送並ニ整理ノ爲、第一次

先發トシ、トシ、渡久地・向・出發

三、残余人員ハ伊江島埠頭・到リ荷物ノ積載作業

及残務整理

四、大島伍長以下十四名第二次先發者トシ、中隊被服及器材

輸送並ニ整理ノ爲、一六三、渡久地・向・出發

十月二十日

月曜日

晴

宿營地

沖繩國頭

本島町

中島營

一、村上少尉以下七名トシ、伊江村國民學校出發

一〇三、渡久地埠頭・歸還、直・行軍・休、中島渡

節陣地附近宿營地・向・前進、第二小隊谷田一等

二小隊内營、大々一、一、到着

二、午後全員渡久地埠頭、中島渡節陣地・荷車四輛及臂力

依リ武器・彈藥・糧秣及資材等、運搬格納作業任

三、中作命令、第二三號

二、兵中隊命令

十月二十日

一、中隊八明一留リ、兵器及糧秣格納庫、構築作業ヲ續

行トシ、共一號、以テ、中島指揮所(連島塔附近)ヲ構築

セシ

二、第三小隊ハ二小隊ヲ以テ、中島指揮所(連島塔附近)ヲ

築キ、予定ヲ以テ、構築セシトシ、主ク、以テ、前作業ヲ續行

十月三日  
火曜日  
晴  
宿務地  
沖經縣  
國頭郡



スレ

石川准尉(夫ニ・附ス) 戦斗指揮所附近ノ測量、任ズル  
杉本准尉ハ勤務兼任隊(夫夫)ノ統轄ニ任ズル  
予ハ戦斗指揮所ノ現地ヲ指示スルニ谷田宗助落民家ニ在リ

下達法 全更ヲ集メ口達ス  
二六中隊長代理 村上少尉

一日命 第六大隊

獨上編成第一五聯隊日々命令  
十月三日  
本抄付

本職 明ニ音 戦法研究会出席、夕ニ泊、予定、以テ即奮闘ニ出張ス

第二小隊(夫一々今隊)及第二小隊 伊野波、内管後郭性也、兵器被服資材、運搬作業

本抄付  
字山益

十月三日  
水曜日



宿務地  
沖經縣  
國頭本抄  
字山益  
獨上編成

三第二小隊員位長以下一四名 内管松林ヲ洞窟掩蔽部用  
成、採探作業ニ任ズ

四本抄付住民五口名入トシテ來隊 第二小隊、採探作業援助ニ任ズ

五石川准尉(夫一)ハ戦斗指揮所、測量

一 第二第二小隊 内管松林ヲ洞窟掩蔽部用成、採探  
ニ任ズ

一 本抄付住民三三名 入トシテ來隊 第二第三小隊、掩蔽部  
用成、運搬援助ニ任ズ

十月二十日



十月二十日

木曜日

曇後晴

宿營地

中經縣國

頭和木抄

宇内宿

宿營二日

十月二十日

金曜日

一 第一第二小隊共前日、引續、山宿松林より洞窟  
控蔽地用材、廿九集  
二 石川准尉(兵)戦斗指揮所、測量

一 第一第二小隊共前日、引續、山宿松林より洞窟控蔽地  
用材、廿九集

量

宿營地

中經縣國

頭和木抄

宇内宿

宿營二日

十月二十日

土曜日

雨後曇

宿營地

中經縣國

頭和木抄

宇内宿

宿營二日

十月二十日

一日命 第九上隊

馬上混成第五聯隊司令

十月二十八日  
本抄 伏

一 早原受領、タノ明ナル日、ハ、左記人更、聯隊砲中隊

前、差出シ、杉浦中尉、指揮、受ケシムベシ

第二、長崎巻脚、細紐、行スベシ

但、第二大隊、八十時、送又、集合スベシ

主 記

二 矢中隊

二 左

十月二十九日  
日曜日  
臺  
宿營地  
沖經縣  
國頭郡  
本抄町  
宇內管  
獨進五作命  
第六四號

一 第二小隊 內管、第三號兵器及第四號糧秣洞窟格納庫、構築。  
二 第三小隊 (又、分隊) 內管松林、洞窟掩蔽部用材、蒐集。  
三 第四小隊 蓋分隊 內管、構息掩蔽部、構築。

一 第二小隊 內管、第三號兵器及第四號糧秣洞窟格納庫、構築。  
二 第三小隊 (又、分隊) 內管松林、戰鬥指揮所、構息掩蔽部、用材、採材、運搬作業。

三 第二小隊 第四分隊 內管、構息掩蔽部、構築。  
四 横川一軍兵以下二名 軍兵受領、多本抄國民學校、到り、杉浦中尉、指示受テ二、歸隊。

十月二十日  
月曜日  
臺  
宿營地  
沖經縣  
國頭郡  
本抄町  
宇內管

一 日命 第七工疏

獨之謀或第十二聯隊曰々命令

十月二十日  
本抄使

一 臨時軍兵二十四頭 旅團ヨリ配當マシレ 依テ十月二十日  
各隊、配當、各隊ノ所要ノ兵力ヲ差出シ 配當員ノ  
交付ヲ受クベシ 配當區分ヲ記シ、如シ

主 記

二 兵中隊 赤禱、白爪、英雄。

二 第二小隊 內管、第二號兵器及第四號糧秣洞窟格納庫、  
構築。

三 第三小隊 (又、分隊) 前日。引續キ内管松林ヨリ 戰鬥指  
揮所、構息掩蔽部、用材、採材、運搬。

四 第三小隊 第四分隊 內管、構息掩蔽部、構築。  
五 本抄町住民五七名 入夫トシテ來隊、第二小隊、掩蔽部用材木、

